

平成 10 (1998) 年度第 3 回常任幹事会議事録

日本光学会 (応用物理学会)

日 時: 平成 11 (1999) 年 3 月 12 日 (金)

13:30~17:30

場 所: 機械振興会館地下 3 階 1 号室

出席者: 山口幹事長以下計 22 名

議事

1. 報告事項

1-1. 「光学」編集委員会報告

- 2000 年第 1 号 (第 29 巻第 1 号) は「環境と光」というテーマで構想中である。
- 原著論文投稿増検討の中で、例えば「光学」に掲載された優秀な論文を英訳して「OR」に掲載するという案がでており、今後さらに検討を進める。
- 28 巻 5 号は、光学掲載本文に著者ホームページ掲載の画像を組み合わせた形態となる。ホームページに関しては、原則 1 年間の掲載を著者をお願いするが、強制ではないため、期間内に掲載を取り止める場合は事前に報告していただき、その旨を光学のホームページでアナウンスする。
- 新「講義」シリーズが、2000 年 1 号からスタートする。
- 光学の多色刷化、およびデータ、画像のカラー化に関して今後検討する。なお、データ、画像のカラー化に伴う費用に関しては、投稿論文は著者の負担、依頼論文は「光学」側で負担する方向で検討している。また、カラーページは例えば 1 ページにまとめてしまうという方式を考えている。ただし、この場合は別刷にそのページが含まれないといった弊害もあるため、検討が必要である。
- 編集委員長、副編集委員長の任期に関しては、従来各 2 年間、したがって正副通して 4 年間務めることになっていたが、新年度より正、副各 1 年間、正副通して計 2 年間とすることが確認、了承された。なお、編集委員の任期に関しては、幹事会とは独立に編集委員会の規約で決定し、幹事会へは報告を行えば良いことが確認された。

1-2. 「OR」編集委員会報告

- 今年の掲載論文状況は No.1 が 14 編、No.2 が 14 編、No.3 が 19 編 (Near-Field 特集論文 11 編を含む) である。
- 今年に入ってから投稿数が計 16 編と少なく懸念されている。
- OR の Reject 数が多いのではないかの議論が前回幹

事会でされたが、累計全投稿数約 400 編中 Reject 数は 52 編、10%強程度であり、特に多いわけではないことが確認された。

- 今後、分類表の見直しを編集委員会にて検討するが、現在は「光学」「OR」で別々の分類をしており、この件も含めて検討していく。

1-3. 冬期講習会結果報告

- 決算報告が行われた。有料参加者数は 35 名であった。
- アンケート結果の報告が行われた。参加費が高いという意見があり、講演料も含めて見直し検討を行う。
- 今回は e-mail による勧誘を行ったが、アンケート結果からもこの効果が確認できた。

1-4. ICOSN '99 進捗報告

- プログラムが出来上がり、配布された。また、SPIE のホームページにも掲載されており、最新版が随時紹介される。
- 準備は順調に進んでいるが、現在までにキャンセルが 5 件発生した。

1-5. 第 24 回光学シンポジウム進捗報告

- 各雑誌に募集記事を掲載し、またポスターを配布することで広報活動を行っている。
- 招待講演者 3 名が決定した。招待講演のうち、フォトリック結晶を企画セッションとして検討中である。
- 応募総数は 26 件+ α である。

1-6. 広報活動マニュアル

- 広報活動マニュアル (案) が示され、今後各事業担当はマニュアルに沿って広報活動を行うことが確認された。

1-7. OPTICS JAPAN '99 進捗報告

- OJ に関し、以下の問題点が提起された。
 - ① 応物学会の光関連セッションと内容が類似しており、どちらに参加、発表すべきか明らかでない。
 - ② 応物学会に参加する研究者には、両方の会への参加、発表は負担が大きい。
 - ③ 応物学会と比べて各講演会場での聴衆数が少なく、そのため討論が活発ではない。
 - ④ 各研究グループごとにオーガナイズドセッションを企画するため、小規模がメリットの光学会において縦割り化が生じつつある。
 - ⑤ 他の光関連学会との交流が少なく、他学会員の招待講演はあるものの投稿論文はなく、連合講演会への発展的方向は見られない。

- ・以上の問題点を踏まえて、以下の企画が提案された。
- ①講演会の半分は、参加者全員が出席できる Plenary session とし、300～500 人収容の会場を利用する。
- ② Plenary session では、応物学会以外の光関連学会から 1～2 名に講演をしていただき、またアジアを中心に 2～3 の国から、その国の光学会を代表した講演をしていただく。さらに、各研究グループの数名が光学会全体に向けての最新の話題を講演する。
- ③招待講演中心のシンポジウムは原則として廃止する。
- ④プログラムはプログラム委員会主導で行うこととし、複数のシンポジウムテーマを設定する。各研究グループからは各 1 名がプログラム委員会に参加する。シンポジウムは一般講演を中心とする。
- ⑤ポスターセッションを多く設けるよう努力し、シンポジウムをポスターセッションとすることも有り得る。
- ・開催日程は、11 月 23 日、24 日に決定した。(注：その後の実行委員会(4/20)および幹事会(5/14)の審議で開催期間が 11 月 23 日～25 日に変更になった。)

1-8. サマーセミナー進捗報告

- ・日程は 9 月 16 日、17 日に決定した。
- ・テーマ案は「極限を見る！」である。
- ・講師は 3 月中を目途に交渉の予定である。
- ・以上の企画案に対して、テーマがやや刺激的である、講師候補者の内容とそぐわないのではないかなど意見があり、内容がすべて決まってから適切なテーマ名に変更することになった。

1-9. 奨励賞選考委員の提案

- ・平成 11 年度日本光学会奨励賞選考委員会の委員構成が提案され、承認された。
- ・ただし、日程の都合上、実活動はすでに開始している。
- ・対象は 15 編で、審査は 5 月に行われる。

1-10. 平成 11 年度幹事会名簿およびスケジュール

- ・新年度の幹事会名簿およびスケジュール案が配布された。

1-11. 会員動静

- ・'99 年 1 月の会員動静状況の報告が行われた。

1-12. 共催・協賛の報告

- ・7 件の協賛依頼が報告され、了承された。

1-13. 名簿作成進捗報告

- ・名簿作成 WG の進捗報告が行われた。
- ・当初不可となっていた業者への電子ファイル提供は、覚書きを取り交せば可能となったため、この方向で進めるべく検討中である。
- ・名簿作成に当たり、以下の意見、提案があった。

① SPIE-OSA-OSJ 合同名簿に掲載されている日本光学会会員は約半数程度である。今回のアンケートで、今回の合同名簿に掲載可、否の項目を設ける。

②名簿配布は無料である旨、明記する。

③アンケートは往復はがきで行うが、返信は e-mail も可とし、その旨明記する。

④名簿掲載拒否のチェック項目を設けて、また返信なき時は掲載する旨明記する。

・以上の意見も含めてさらに検討を進める。

2. 審議事項

2-1. 研究グループ新設

・大阪大学医学部保健学科の春名氏より、「生体医用光学」研究グループ設立の申請が行われ、承認された。

2-2. 総会資料審議

・平成 10 年度事業報告、平成 11 年度事業計画が提示され、承認された。

・平成 10 年度収支決算、平成 11 年度収支予算が提示され、承認された。

・平成 10 年度研究グループ活動報告、平成 11 年度事業計画が提示され、承認された。

— 以 上 —

第 24 回光学シンポジウム

日本光学会主催の第 24 回光学シンポジウムが 1999 年 7 月 1 日 (木)、2 日 (金) に東京大学生産技術研究所で開催されます。詳細は本誌第 28 巻第 2 号綴じ込みの案内または日本光学会ホームページ (<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/osj-ap/index.html>) をご覧ください。

OPTICS JAPAN '99 in OSAKA

日本光学会の学術講演会である OPTICS JAPAN '99 が、1999 年 11 月 23 日 (火)～25 日 (木) に大阪大学コンベンションセンターで開催されます。詳細については、本誌第 28 巻第 5 号の綴じ込み案内をご覧ください。

カラーフォーラム JAPAN '99

光学四学会幹事会 (日本写真学会、日本光学会 (応用物理学会)、照明学会、日本色彩学会) が主催するカラーフォーラム JAPAN '99 が、1999 年 11 月 9 日 (火)～11 日 (木) に工学院大学において開催されます。詳細については、本誌第 28 巻第 5 号の綴じ込み案内またはホームページ (<http://vision.tp.chiba-u.ac.jp/colorforumj99/>) をご覧ください。

第 32 回光学五学会関西支部連合講演会

日 時： 1999 年 7 月 15 日 (木) 13:00~17:00

場 所： 大阪市立大学文化交流センター

大阪市北区梅田 1-1-3-1700 大阪駅前第 3 ビル 16 F

電話 06-6344-5425

主 催： 日本光学会(応用物理学会), 照明学会関西支部,
日本色彩学会関西支部, 日本分光学会関西支部, 日本
写真学会西部支部

協 賛： 電気学会関西支部, 電子情報通信学会関西支部,
日本印刷学会関西支部, 応用物理学会関西支部, 日本
化学会近畿支部, 映像情報メディア学会関西支部, 日
本材料学会関西支部, 日本画像学会関西支部, 近畿化
学協会, レーザー学会, 応用光学懇談会, 日本人間工
学会関西支部

テーマ：「光を盗る」—デジタルイメージングの技術と活
用—

演 題：

- 1) ここまできたデジタルイメージング
市川泰憲 (写真工業出版社)
- 2) デジタルカメラのイロハ
藤森秀之 (ミノルタ)
- 3) デジタルカメラとカラーマッピング
笠井 亨 (InfoArts)
- 4) デジタルカメラによる輝度分布測定
岩井 彌 (松下電工)
- 5) 天文撮影におけるデジタルイメージング
山野泰照 (ミノルタ)

参加費： 主催・協賛学会員 4,000 円, 非会員 5,000 円,
学生 1,000 円 (当日ご持参ください)

申込方法： 氏名, 勤務先 (学校), 連絡先, 所属学会を記
入のうえ, 下記申込先までハガキ, Fax または E-mail
でお申し込みください。

申込・問合せ先：

〒558-8585 大阪市住吉区杉本町 3-3-138 大阪市立
大学生生活科学部生活環境制御講座 土井 正

電話/Fax 06-6605-2834

E-mail: doi@life.osaka-cu.ac.jp

申込締切： 1999 年 7 月 9 日 (金) 定員 100 名

第 87 回光コンピューティング研究会 (夏合宿)

主 催： 日本光学会 (応用物理学会) 光コンピューティ
ング研究グループ

日 時： 1999 年 7 月 11 日 (日)~13 日 (火)

場 所： 静岡県田方郡長岡町長岡 174 けんぽ長岡

電話 0559-48-5445 Fax 0559-47-0403

交 通： 伊豆長岡駅より温泉場循環バス 5 分, 「分譲地
前」下車, または, 沼津駅より長岡温泉行きバス 40
分, 「分譲地前」下車, または, 東名沼津インターチェ
ンジより車で 30 分

テーマ： 光コンピューティングを支えるデバイス技術

内 容：

(A) 講演 (著名な先生方にご専門のデバイスのレビ
ュー, 最近の進展, 将来動向, および光コンピュー
ティングに関するご意見を講演していただきます)

・面発光レーザーの現状と将来展開

小山二三夫 (東京工業大学)

・コンピューティショナルセンサ

相澤清晴 (東京大学)

・光接続デバイス

河合 滋 (職業能力開発大学校)

・受光デバイスと LSI

米津宏雄 (豊橋技術科学大学)

(B) パネルディスカッション (光コンピューティングの
未来像に関して御講演の先生方を交えて議論します)

(C) グループ討論

参加費 (宿泊費, 資料代含む)：

一般	35,000 円	非会員	40,000 円
大学関係	30,000 円	非会員	35,000 円
学生	19,000 円	非会員	24,000 円

参加申込み締切： 1999 年 6 月 25 日 (金)

定 員： 35 名 (定員に達し次第, 締め切らせていただき
ます)

連絡先：

吉川宣一 (筑波大学物理工学系)

電話 0298-52-5042

E-mail: yoshikaw@bk.tsukuba.ac.jp

津田裕之 (NTT フォトニクス研究所)

電話 0462-40-2825

E-mail: tsuda@aecl.ntt.co.jp

山本裕紹 (徳島大学)

電話 0886-56-9427

E-mail: yamamoto@opt.tokushima-u.ac.jp

3次元画像コンファレンス '99

~併催：3次元画像機器展 '99~

期 日： 1999 年 6 月 30 日 (水), 7 月 1 日 (木)

場 所： 工学院大学新宿校舎 3 階大講堂 (および 11 階第
5 会議室) (JR 新宿駅西口下車, 徒歩 5 分)

主催：3次元画像コンファレンス'99実行委員会

プログラム（特別講演，招待講演のみ抜粋）：

第1日 6月30日（水） 9：00～17：35

11：35 超音波3次元画像の現状と展望

千原國宏（奈良先端大）

16：05 パネルディスカッション

テーマ『21世紀へ向けた3次元映像表現』

(1) IPTとイマーシブテレプレゼンス

広瀬通孝（東大）

(2) マインド・スキャナーとしての情報芸術

土佐尚子（ATR）

(3) 3次元放送への夢

湯山一郎（NHK）

第2日 7月1日（木） 9：30～17：35

10：15 “Perception of ‘the sensation of reality’ based on human information processing”

S. Yano (NHK, Japan)

11：45 “Recent holography projects at the MIT Media Lab”

S. A. Benton (MIT, USA)

15：20 3次元映像の生体への影響—視覚系，循環器系への影響—

斎田真也（生命研）

参加費：協賛学会・研究会会員 10,000円，非会員 13,000円，学生 5,000円

申込先（問合せ先）：

（株）精機通信社気付「3次元画像コンファレンス'99実行委員会」

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-16-13

電話 03-3367-0571 Fax 03-3368-1519

URL: <http://www.ecs.cst.nihon-u.ac.jp/3dconf/>

計測自動制御学会関西支部平成11年度講習会

「シミュレーションを利用するプロセスの設計と制御—固体が関与するプロセスのシミュレーション—」

日時：1999年6月30日（水） 9：20～16：40

場所：ホテルアウィーナ大阪 金剛（東）の間（4階）
（大阪市天王寺区石ヶ辻町19-12 電話 06-6772-1441）

問合せ先：同志社大学工学部物質化学工学科 日高重助
電話 0774-65-6608 Fax 0774-65-6843

E-mail: jhidaka@mail.doshisha.ac.jp

「デジタルカメラの現状とその応用」公開セミナー

日時：1999年7月13日（火） 9：45～16：50

場所：機械振興会館地下3階研修1号室（東京都港区芝公園3-5-8）

主催：日本オプトメカトロニクス協会

定員：120名

問合せ先：電話 03-3435-9321

シンポジウム「量子の世界」

～科学技術振興事業団基礎研究事業報告会～

量子が支配するマイクロで不思議な世界はどこまでわかっているのか？ 量子に関する最先端の研究を通して，量子が創り出す世界に迫るとともに，21世紀への技術を探る。

主催：科学技術振興事業団

日時：1999年6月28日（月） 13：10～17：30

会場：国連大学国際会議場（東京都渋谷区神宮前5-53-70，青山学院大学前）

講演者：

山本喜久（スタンフォード大，NTT基礎研）

清水 明（東京大）

高柳邦夫（東京工大）

竹内繁樹（三菱電機）

小川哲生（東北大）

横山正明（阪大）

榊 裕之（東京大）

創造科学技術推進事業・国際共同研究事業・個人研究推進事業・戦略的基礎研究推進事業参加研究者によるポスターセッション（15件程度）

申込・問合せ先：

科学技術振興事業団基礎研究推進部内 基礎研究事業報告会事務局

〒332-0012 埼玉県川口市本町4-1-8 川口センタービル 電話 048-226-5635 Fax 048-226-1164

科学技術振興事業団ホームページ <http://www.jst.go.jp>

1999年（第7回）旭硝子財団研究助成成果発表会

テーマ：薄膜の構造制御と機能発現—光機能を中心に—

日時：1999年7月15日（木） 13：30～17：30

場所：国際連合大学国際会議場（東京都渋谷区神宮前5-53-70）

プログラム：

高温超伝導薄膜研究の贈り物：酸化物の原子レベル構造制御と光超機能

鯉沼秀臣 (東工大)
 光によるスピン整列の制御：分子スピニクスへの展開
 山口 兆 (阪大)
 超安定光波回路の開発：ガラスとポリマーを用いた温度
 依存性のない光導波路
 國分泰雄 (横浜国大)
 超高速光メモリ素子：光非線形デバイスの新しい展開
 河口仁司 (山形大)
 InGaN 系半導体青色発光デバイス：発光のメカニズム
 を探る
 藤田茂夫 (京大)

参加費： 無料

申込先： (財)旭硝子財団

〒102-0081 東京都千代田区四番町 5-3

電話 03-5275-0620 Fax 03-5275-0871

ファクスまたは郵送にてお申し込みください。後日、
 参加証をお送りします。

光科学・光科学技術の研究に対する助成と表彰の募集

光科学技術研究振興財団

研究に対する助成：

- ・対象課題 光の本質についての未知領域の研究
- ・助成金総額 約 3,000 万円

研究に対する表彰：

- ・対象者 過去 2 年間に、科学技術関係の刊行物などに光
 科学または光科学技術に関する独創性ある研究成果を発
 表された方で 35 歳以下の方
- ・表彰金総額 100 万円

応募締切： 1999 年 8 月 31 日

問合せと募集要項請求先：

(財)光科学技術研究振興財団

〒430-0926 浜松市砂山町 325 番地の 6

電話 053-454-0598 Fax 053-454-1929

新入会員

個人

会員番号	氏名	所属
A 6103101	小林 秀一	キャノン・レンズ開発センター
6103102	三谷 ゆり	東工大・工 (学)
6103103	斎藤 真広	東工大・大学院 (学)
6103104	久保 光司	ミットヨ・MKC 商品開発部

6103105	福永 秀樹	富士ゼロックス・総研
6103106	天野 辰次	ニデック・コート技術部
6103107	川淵 美紀	千葉大・工 (学)
6103108	佐藤 秀城	千葉大・大学院 (学)
6103109	高木 一也	千葉大・工 (学)
6103110	小林 伸二	三洋・ハイパーメディア研
6103111	坂田 肇	キャノン・研究開発本部
6103112	後藤 昭	マーク・長井工場
6103113	和田 秀彦	松下電産・光ディスク開発センター
6103114	林 宏太郎	ミノルタ・カメラ開発センター
6103115	上山 憲司	大日本スクリーン・技研
6103116	米山 修二	旭光学・光学研
6103117	高木 正人	大宏電機・技術部
6103118	山口 明彦	松下電子部品・生産技術センター
6103119	中野 貴之	新潟大・大学院 (学)
B 11199	浜中 宏一	千歳科学技術大・光応用システム
23460	佐藤 学	山形大・工学研究科
28141	城田幸一郎	理研・光工学研
28386	園田 義人	九州東海大・工
50654	安 弘	大阪電通大・工
50656	柿島 浩	秋田特許事務所
50657	篠崎 亮	システム精工・岩田(事)
50748	花澤 民雄	九産大・工
50753	遠間 正真	阪大・大学院 (学)
50754	山口 太郎	阪大・大学院 (学)
51151	松田 一成	神奈川科学技術アカデミ
51158	市橋 宏基	松下技研・超機構研
51159	田中 宏和	小松製作所・研究本部
51177	高原 邦光	防衛大・大学院 (学)
A → B 51178	青柳倫太郎	奈良先端大学院大・物質創成研 (学)
B 51181	曾田 正浩	三菱重工・基盤技研
51350	中川紀美雄	岡山理科大・工
51515	宮城 光信	東北大・工学研究科
51613	荒井 孝之	エンプラス研・研究部
51614	白石 雅之	ニコン・第一開発部
51680	中山 和也	東京電機大・大学院(学)
A → B 51683	羽石 秀昭	千葉大・工
B 51684	北村 和也	シャープ・生産開発本部

特別会員

272	(株)KDD・研究所
273	国立歴史民俗博物館
276	(株)東芝・研究開発センター図書館 (永野分)
277	(株)東芝・研究開発センター図書館 (大塚分)
278	(株)紀伊國屋書店・NTT 武蔵野 BIC
279	(株)東芝・デジタルメディア社
280	(株)紀伊國屋書店・岡山営業所

日本光学会 news の掲載申込み先：
 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学工学部情報画像工学科 羽石秀昭
 電話 043-290-3263 Fax 043-290-3262 E-mail: haneishi@ics.tj.chiba-u.ac.jp
 なお、掲載申込みは原則として発行日(10日)から2か月前の15日まで、開催日が1~10日の場合は、開催日の3か月前の15日までをお願いします。

日本光学会平成11年度幹事 (*常任幹事)

幹事長：	山口 一郎* (理研)	
副幹事長：	河田 聡* (大阪大)	
庶務幹事：	吉川 浩* (日本大)	佐藤 浩志* (コニカ)
	小野寺理文* (職業能力開発大)	石渡 浩* (オリンパス)
	羽石 秀昭* (千葉大)	米山 修二* (旭光学)
会計幹事：	栗木 一郎* (東京工業大)	埜田 友也* (ニコン)
『光学』編集幹事：	志村 努 (東京大)	大坪 順次 (静岡大)
	伊藤 雅英 (筑波大)	中川 清 (神戸大)
『OPTICAL REVIEW』編集幹事：	朝倉 利光* (北海学園大)	一岡 芳樹 (大阪大)
国際協力幹事：	佐藤 平八 (防衛大)	黒川 隆志 (東京農工大)
	芳野 俊彦 (群馬大)	松本 弘一 (計量研)
将来問題担当幹事：	久保田重夫 (ソニー)	岩田 耕一 (大阪府立大)
前幹事長：	横田 英嗣 (東海大)	
企画・事業担当幹事：	亀丸 俊一 (北見工業大)	羽根 一博 (東北大)
	北島 巖 (福井大)	佐々木修己 (新潟大)
	須原 浩之 (リコー)	坂田 肇 (キヤノン)
	松原 浩司 (電総研)	本宮 佳典 (東芝)
	石川 和枝 (上智大)	岡井 誠 (日立)
	天野 主税 (NTT)	伊藤 博 (トヨタ)
	北川 洋一 (兵庫工業試験所)	財部 健一 (岡山理科大)
	今井 洋 (九州工業大)	